



新潟・下越

『食べることも旅の思い出』

Ryokan 浦島(リョカンウラシマ)

当館は、佐渡の中央・西側に位置する、真野湾沿いにごさいます。真野湾は、穏やかな遠浅の海で、夏場はお子様連れの海水浴客で賑わいます。もともとは、魚屋から始まり、時代の流れとともに、仕出し屋、そして割烹料理屋を経営するようになり、旅館になったのは、1980年のこと。夜になるとお料理を食べる泊まる場所をつくらうというので、旅館・浦島が誕生しました。

地魚の舟盛り

『浦島』という名の由来は、『昔話の浦島太郎が、竜宮城で時間を忘れるほど料理を味わったような気分を楽しんでいただきたい』という思いから名付けられました。現在は、ご宿泊の他、ご宴会場として、また会議や講演会場、ご婚礼等にもご利用いただいております。また昨今のコロナ禍にあわせ、仕出し弁当やテイクアウトもご用意しております。

当館が創業当初から一番大切にしておりますのが『お料理』です。『佐渡を訪れる方々に、佐渡の豊かな食料を活かしたお料理を味わっていただきたい』という創業者の思いを、一貫して引き



■Ryokan 浦島
〒952-1325 佐渡市窪田978-3
TEL.0259-57-3751 FAX.0259-57-3762
<https://www.urasima.com>

継いでまいりました。お料理に使用する食材は『地産地消』にこだわり、新鮮な佐渡ならではの魚介は、毎朝、料理長自ら魚市場で仕入れてきます。また佐渡の食材を様々なかたちでお楽しみいただけるよう、浦島東館にはフレンチレストランを併設しており、和食とフレンチからご希望のスタイルをお選びいただけます。是非佐渡でゆっくり泊りいただき、和食とフレンチの両方をお楽しみいただくのもおすすめです。また、2022年5月には、愛犬と一緒に宿泊のできる『Dog villa (ドッグ ヴィラ)』をオープンいたしました。朝食は外のテラス席で、越の松原を眺めながら、わんちゃんと一緒に召し上がりいただけます。お陰様で、多くのお客様にご利用いただいております。是非、大切なわんちゃんも一緒に、佐渡旅行を満喫していただけます幸いです。



佐渡島黒豚のグリエ

中越・上越

『このふるさとが誇りです』

上越信用金庫

当金庫は、上越市と上越地方一円を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となっており、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。地元のお客様からお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするのと同時に、地域社会の一員として地元の方々との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。平成23年からは、全役職員参加による取組み「ふるさと絆プロジェクト」を開始いたしました。



テイクアウト利用②



テイクアウト利用①

III. 人材育成(職員のスキル向上とコンサルティング活動の強化)
の三つを掲げています。特にコロナ禍では、地元飲食店の皆様の為に、何とかお役に立ちたいという思いから、テイクアウト利用を積極的に推進し、令和3年度には全



■上越信用金庫 本店
〒942-0001 上越市中央1丁目11番1号
TEL.025-543-3184 FAX.025-543-6143
<https://www.joetsu-shinkin.jp>

役職員が延べ2、475食購入をした他、当金庫のホームページ上にテイクアウト情報を掲載し情報発信にも努めました。また、売上増加支援として、事業者の皆様とテイクアウト商品開発を一緒に考え、職員のモニター調査を行い販売に至った取組みもあります。このように上越信用金庫ではお客様のお悩みを自分事として捉え、お客様一人ひとりにあったご支援を実現できるように取り組んでいます。(令和元年8月に専門部署として、取引先支援部を新設。お客様の立場に立って、業績、財務内容について一歩踏み込んだ分析を行い、問題解決に向けての改善策、経営改善計画書へのアドバイスをするなど、金銭面だけではなく、生きた支援を心掛けております。お気軽にご相談下さい。)

また、当金庫では、持続可能な開発目標であるSDGsに取組んでいます。SDGs応援融資「希望」の取扱いを令和4年1月より開始し、取引先企業のSDGs推進を支援しております。併せて融資額の一定割合を地元の団体に寄付する融資となっており、地域の様々な取組みを支援しております。今後はSDGs宣言書の作成を支援するサービスを展開予定であり、上越地域のSDGs推進に微力ではありますが、精いっぱい取組み、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。



商品開発例

耳より情報

もしもし検定4級の概要
試験実施主体:公益財団法人日本電信電話ユーザ協会
後援:日本商工会議所
検定試験方法:筆記検定試験
試験の内容:マークシート方式の筆記試験
出題の範囲:3級教育課程と同レベルとする。
・教養ある社会人として欠かせない人格的マナー
・話し言葉・聴くこと・話すこと・気遣うこと
・敬語と言葉遣いの基本
・発声・発音の基本
・電話と対面コミュニケーションの違い
・様々なコミュニケーションツールと電話メディアの特徴
・個人情報保護法(概要)
・電話対応の基礎
・電話の受け方かけ方、取り次ぎ、伝言
領域別出題数:ビジネスマナー6問、日本語7問、法的知識2問、コミュニケーションツール2問、電話対応3問 合計20問
申込先等:長野支部026-223-8619 新潟支部025-211-8381
詳しくはユーザ協会ホームページをご覧ください。
検定試験日:毎月第1水曜日(但し、1月・5月は第2水曜日)

もしもし検定 4級(入門級) 電話対応技能検定
日本商工会議所 後援

もしもし検定4級って?
電話対応エキスパートを目指す層の拡大を図るため、企業及び受験者の負担を軽減し、参画しやすい、マークシート方式の筆記試験のみで選考を行うエントリークラスのもしもし検定です。試験時間も実技無しの40分で完了し、検定料も1,100円(税込)にて受験することができ、ビジネス電話対応に必要なコミュニケーションの基礎知識を有する事ができます。
もしもし検定4級合格者は「おトクがいっぱい!」
3級合格への道がグッと近くなります。
●3級受験のための必須研修の一部が免除!
●3級受験の際の筆記試験が免除!

「もしもし検定」過去問にチャレンジ!!
出典:電話応対技能検定 公式問題集3・4級
発行:日本経済新聞出版社

電話で「申し訳ない」という気持ちを込めてお客様に丁寧に断る場合、心配りのことば(クッションことば)として、ふさわしくない言い方はどれですか。次の中から1つ選びなさい。

- 「すみません(すみません)が、そのご依頼には応じかねます」
- 「恐れ入りますが、そのご依頼には応じかねます」
- 「折角ですが、そのご依頼には応じかねます」
- 「恐縮ですが、そのご依頼には応じかねます」